



色水とは

園長 立石 晃子

五月晴れの気持ちのよい天候もあっというまに過ぎ、真夏日が観測される日が出てきました。

今、幼稚園では園庭での遊びが大展開されています。南千住第二幼稚園の園庭と言えば2つの砂場と泥山がシンボリックな存在です。砂場や泥山は大人気の場所で、掘ったり固めたり、砂や泥の性質を利用しながら遊んでいます。そこに暖かくなってきたからは水が加わり、よりダイナミックな遊びが展開されています。年少組は砂・泥・水との距離が近く、素材そのものにじっくりと関わります。初めはシャベルですくっていたところから、直に手で、服が汚れるのも気にならなくなり、靴を脱いで裸足で飛び込んでいくようになりました。年中組は友達と一緒にアイデアを出し合いながら遊びを進めます。砂場と築山の傾斜に掛けた樋におもちゃを浮かべ、水を流すものうまく流れず悪戦苦闘、樋の重ね方や傾きを変えてやってみてうまくいくとみんなで大喜びをしていました。そして年長組は園内の葉や花を使って色水づくりに夢中です。すり鉢とすりこ木で好みの色や偶然できたものをジュースに見立てていました。友達の作ったものに影響を受け、よりよいものを作ろうと工夫し、工夫してできたものを周りの友達や教師に見せ、満足感や充実感を得ています。共通して言えることは、子供たちは自然物との触れ合いの中で心と体を動かし、探究を積み重ねているということです。



本園を修了し現在小学校に通っているお子様の保護者の方から、「今でも幼稚園が大好きで幼稚園に行きたい、色水をやりたいと言っている。家で色水をやりたいと絵の具で色水をつくるが、『こんな色水じゃない』と言う。」とうかがいました。絵の具の人工的な色でつくる色水は色水ではなく、葉や花など自然物を使った色水こそ色水であると感じられていること、本園を修了した子供らしい発言だと感じました。絵の具の色水と自然物の色水、2つの色水の決定的な違いは、後者の方が発色するまでに幼児の思考と操作が加わっているところです。頭を働かせ、心を砕き、手を掛けて得たものは、子供の中にしっかりと留まり、その後の生きていく上での基盤となります。次期幼稚園教育要領改訂に向けての「教育課程企画特別部会における論点整理」(令和7年9月25日 中央教育審議会 教育課程企画特別部会 文部科学省)の中でも、「幼児教育における遊びの中で直接的・具体的な体験を通した学びが、客観的・抽象的な認識や思考が発達していくことになる小学校以降の生活や学習の基盤となる」と述べられています。こうした直接的・具体的な体験が積み重ねられるよう日々教師は、場や道具、素材を設定し、教師自ら裸足になり率先垂範し、子供とともに面白がり意欲を高める援助を行い、幼児の直接的・具体的な体験を支えています。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

冷たいの気持ちいいね！みんなで一緒に遊ぶのってなんか楽しいね！

だんだんと季節が夏に近づいてきた5月です。もも組では、砂場に水を入れて遊び始めました。砂や水の感触、互いが混ざり合った感触などを感じ、水や泥でびちゃびちゃになることを繰り返して楽しんでいました。温泉や池を作ったり、電車や船を走らせる水路を作ることを楽しんだり、型抜き繰り返し楽しんだり、それぞれの遊び方や楽しみ方を見つけて遊んでいます。幼稚園での生活にも少しずつ慣れてきて、自分で身の回りのことをやってみようとしたり、友達のしている遊びに興味をもったり、歌を歌ったり手遊びをしたりすることを楽しんだり、みんなで過ごす楽しさを感じているようです。

これからの季節は、天気が崩れることが多くなってくることが予想されるため、室内の遊びを充実させたり、室内で体を動かしたりして過ごすことができるようにしていきます。

< 4 歳たんぼ組 >

友達と一緒に遊ぶと楽しいね！園庭遊びでいろいろ挑戦！

園庭で遊ぶことが大好きなたんぼ組の子供たちは、4月から継続して虫探しや砂場での遊びなど、やりたい遊びを楽しんでいます。チョウやシロツメクサなど、初夏の身近な自然を遊びに取り入れる中で、「一緒に他の虫も探そうよ」「○○ちゃんが見付けた花はどこにあるの？」と友達を遊びに誘ったり、友達の様子を見て新たな遊びに興味をもったりと、遊びや友達との関わりが広がってきました。雲梯やのぼり棒などの遊具や、泥遊びでも、友達が遊んでいる姿に刺激を受けて、「自分もやってみたい」と挑戦する姿が見られるようになってきています。「見て見て、こんなこともできるようになったよ！」と嬉しい笑顔がいっぱいのたんぼ組です。

6月は、梅雨ならではの自然が楽しめる時期です。身近な自然を取り入れながら、様々な人や物への興味関心を広げ、より友達と一緒に遊ぶ楽しさを重ねていけるよう援助していきます。

< 5 歳ばら組 >

「どうやったの？」「こうしたらどうかな？」探究する楽しさを体験中！！

春から初夏に移り変わり、季節の変化に触れながら自然遊びをしています。園庭に咲いているたんぼぼを摘んでたんぼぼジュースにしたり、ハーブを集めて「体にいいハーブジュースだよ」と色水遊びをしたりしています。菜の花にいた幼虫を育て、蝶になり「元気でね。また遊びに来てね」とみんなでさようならをしました。現在は、ミカンの葉に産まれた卵が幼虫になり、虫や夏野菜の生長を見守っています。また、年中組から育てているイチゴとソラマメの収穫をしました。イチゴは「スーパーのよりもおいしい」「今までで一番甘い！」と喜んだり、ソラマメのサヤの数をみんなで数えて「162個！！」と驚いたり、自分たちで育てているからより嬉しい気持ち大きいようです。

これから梅雨の時期になります。室内で安全な過ごし方を自分たちで考えながら過ごしていけるようにし、自分なりの目当てをもって楽しめるように援助していきます。